

日刊 勤労千葉

84. 7. 17

No. 1692

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

「過員」攻撃許さず闘う

第5回 構運分科定期委員会開催

七月十日、構内運動分科第五回定期委員会が開かれ、当面する取り組みを決定し、新役員を選出して成功裡に終了しました。

「職制改正」に伴う問題点に意見集中

委員会は、本部から水野、山口両副委員長が出席し、執行部から「経過」と「方針」が提起されました。

質疑討論は、各委員から多くの意見が出され、特に昨年の「6・1職制改正」に伴う各支部における問題点が出されました。とりわけ、当局の新採停止により後継者がいない問題点が指摘されると同時に、構内運動分科会としての将来展望について、率直な意見が出されました。

本部及び分科執行部の答弁をうけた後、当局の「過員対策」と称する「帰休制度導入」等の首切り攻撃を許さず、「三里塚と国鉄を基軸に中曾根と対決する労働運動めざし闘いぬく」の方針を確認しました。

最後に新役員を選出し、島田会長の団結ガンバリをもって、明日からの奮闘を誓って終了しました。

新役員は次のとおりです。

会長	島田益雄	52才	新小岩
副会長	安田喜夫	54才	館山
事務長	成毛正克	42才	幕張

地域班を結成しよう

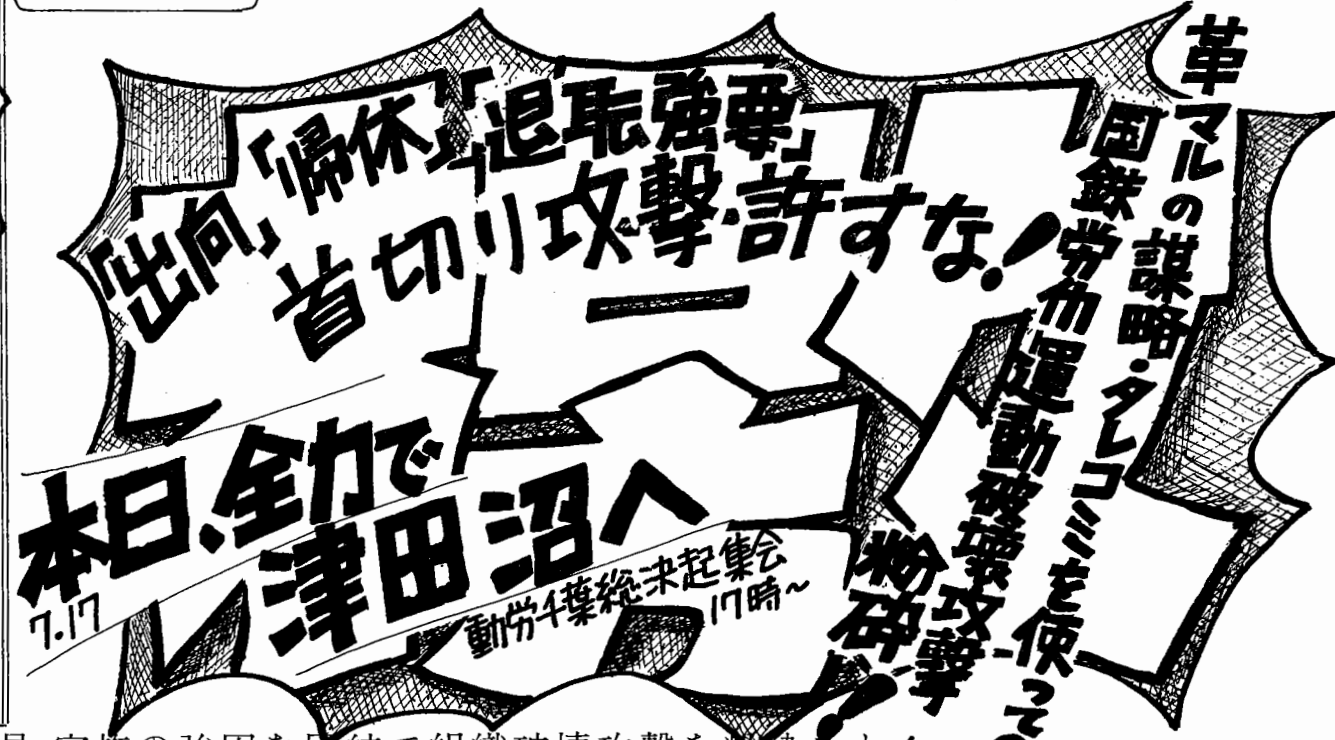
7月5日10時より、動力車会館において第2回全支部地域班担当者会議が開催され、8月末目途結成にむけて具体的に取り組むことが確認されました。

各支部担当地域を決定

地域班担当者会議は、各支部担当者から様々な角度からの意見が出されました。

主な意見としては、
1. 地域班と家族会の関係について、

2. 支部におけるグループ活動と結成後の活動について、
3. 地域における支部組合員の多い支部と少ない支部との運動面について、
4. 支部としてはすでにブロック別にしてある。等々であり、困難性はありつつも結成にむけて各支部担当地域が次のよ



うに決定しました。
新小岩支部―習志野地区。津田沼支部―船橋(B)地区。幕張支部―天台地区。千葉転支部―茂原地区。蘇我支部―宮崎地区。木更津支部―木更津地区。勝浦支部―御宿地区。館山支部―鋸南、富浦地区。成田支部―我孫子、栄町、印西地区。佐倉支部―佐倉地区。銚子支部―銚子地区。
以上確認されましたので、全支部の組合員の皆さんの協力を訴えます。